

原子力発電所の稼働中止以降の消費電力削減対策

ユニーでは2012年夏の電力需要に備え、節電対策を積極的に実施しています。店舗での節電には、照明や空調温度などお客様からの協力が必要なものがあります。電力不足に配慮するだけでなく、地球温暖化防止を目指しています。期間は2012年6月21日から9月30日までの102日間、中京（関西電力管内を除く）、北陸エリアは削減目標5%、関東、山梨静岡、関西電力管内エリアは削減目標15%（数値目標は2010年比）としています。

お客様の家庭での節電対策

2011年同様、原子力発電所の稼働中止による電力供給量の減少や夏のピーク電力時の停電などへの配慮から、家庭でも積極的な節電対策が必要とされています。ユニーは2011年につづき2012年夏も、節電ライフに役立つ情報や商品の紹介をパンフレットにして配布しました。



「節電ライフ」パンフレット

消費電力削減のための取り組み

- ① 室内温度を28℃に設定
（事務所、社員食堂、バックヤードを含む）
- ② 店内照明の消灯
（衣料・住居関連商品のスポット照明の一部、バックヤード）
- ③ 自動販売機の消灯と冷蔵停止時間の設定
- ④ 冷蔵ケースの適温管理
（ビール、ワイン、ペットボトルを5℃から10℃に）
- ⑤ 衣、住、食のフィールド天井照明を20～30%消灯、モール店舗は通路も同様
- ⑥ 店外照明（塔屋の照明、イルミネーション、店舗壁面広告照明）の消灯
（夜間照明はお客様の安全を考えた設定です）
- ⑦ その他、エレベーター、エスカレーターの一部停止

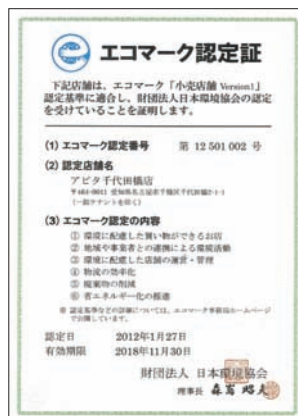
低炭素社会を目指すエコストア

アピタ千代田橋店がエコマーク小売店舗第1号に認定

名古屋市のアピタ千代田橋店は、日本環境協会が新たに認定基準を制定したエコマーク小売店舗第1号として2012年1月27日に認定されました。ユニーは持続可能な社会を目指し、店舗で具体的に実践しています。その活動と成果がエコマーク小売店舗の認定基準に達していると認定されたのです。

特に評価された項目は、次のとおり。

- 食品リサイクルループを実践し生産した野菜や精肉を販売、さらにその工程を消費者に見学や農業体験を通して伝えていること。
- 容器包装廃棄物削減とリサイクル推進の取り組み。
 - ・ レジ袋辞退率……89.4%（2011年度）
 - ・ 青果、鶏卵のパックにバイオマスプラスチックを使用。使用後は回収しリサイクルしている。
 - ・ ばら売りの促進やトレイを使わない販売の試行など
 - ・ 店頭回収の実施および再生品化の推進（牛乳パックから製造したトイレペーパーの販売など）
- 消費者交流などによる環境啓発活動の実施
 - ・ 地域の消費者と一緒に「環境にやさしいお買い物」をテーマにした交流会を開催している。
 - ・ 子供達のお店探検など、次世代に環境教育を行っている。



アピタ千代田橋店 古橋幸典店長

容器包装削減活動とリサイクルによるCO₂削減効果
（環境省「3R行動見える化ツール」プロジェクトによる）

節電やエネルギーの節約以外にも、レジ袋を使わなかったり、飲み終わった容器をリサイクルボックスに持って行くといった環境活動でCO₂削減ができます。ユニーでは2011年度の環境活動で、レジ袋の削減で約7,325t、リサイクルボックスで約1万1,024t、合計約1万8,349tのCO₂を削減できました。

- レジ袋を辞退すると、33gのCO₂が削減できます。
ユニーが2006年に使ったレジ袋 …… 3億3,363万枚
2011年に使ったレジ袋 …… 1億1,163万2,000枚
2億2,199万8,000枚削減（CO₂は732万5,934kg削減）

2011年度リサイクル回収によるCO₂削減量

	回収実績 (kg)	CO ₂ 削減量 (kg)
アルミ缶	534,081	3,257,894
牛乳パック	598,709	535,246
食品トレイ	304,644	1,507,988
ペットボトル	1,760,944	5,723,068
合 計		11,024,196

● リサイクルボックスで回収すると

- アルミ缶1kgで6.1kgのCO₂削減
- 牛乳パック1kgで0.894kgのCO₂削減
- 食品トレイ1kgで4.95kgのCO₂削減
- ペットボトル1kgで3.25kgのCO₂削減

日本環境協会による
エコマーク小売店舗の認定基準

エコマーク新規商品類型「小売店舗Version1」を2011年11月に制定。店舗面積が1000㎡を超える大規模店舗を対象にしています。

認定基準項目（大分類 中分類）

1. 消費者と一体となった環境活動
 - (1) 環境配慮商品の販売と購入の促進
 - (2) 容器・包装材の使用削減の呼びかけ（協力へのPR）
 - (3) レジ袋の使用削減
 - (4) レジ袋以外の容器、包装材に関する省資源化或使用削減
 - (5) 容器・包装材の使用削減の公表
 - (6) 資源回収の呼びかけ（協力へのPR）
 - (7) 資源ステーションとしての役割
 - (8) 回収量および回収物のリサイクル方法についての公表
 - (9) 消費者に向けた環境に関する普及啓発活動の実施
2. 地域や事業者との連携による環境活動
 - (10) 地域や自治体との連携による環境活動の実施
 - (11) メーカー・生産者や物流関係者などとの連携による環境活動の実施
3. 環境に配慮した店舗の運営・管理
 - (12) 環境マネジメントシステムなどの運用
 - (13) 環境報告書などの公表
 - (14) 店舗の環境活動に関する従業員教育の実施
 - (15) 店舗備品のグリーン購入の実施
4. 物流の効率化
 - (16) リターナブル容器・包装資材（通い箱など）の利用
 - (17) 輸・配送システムの効率化
 - (18) 輸・配送の効率化による環境負荷低減効果の公表
5. 廃棄物の削減
 - (19) 廃棄物の発生量削減とリサイクルの実施
 - (20) 販売飲食料品における商品ロスの削減
 - (21) 食品リサイクル法に基づく食品廃棄物のリサイクル
6. 省エネルギー化の推進
 - (22) 店舗における省エネルギー化効果の把握
 - (23) 各設備における省エネルギー化の実施とその方法